

令和3年度第3回座間市社会教育委員会議会議録

会議の名称	令和３年度第３回座間市社会教育委員会会議		
開催日時	書面開催（令和３年９月１６日～３０日）		
開催場所	書面開催		
出席者	大串議長、小池副議長、峰尾委員、山田委員、小多喜委員、乾委員 赤羽委員、宮代委員、大沢委員		
事務局	南山スポーツ課長、市嶋青少年課長、飯田図書館長 吉野生涯学習課長、淀川副主幹兼生涯学習係長		
会議の公開可否	□公開　□一部公開　■非公開	傍聴者数	０人
非公開又は一部公開とした理由	書面開催のため		
議題	１．報告（１）経過報告と今後の事業について ２．報告（２）令和３年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会（Ｗｅｂ開催）について ３．報告（３）令和３年度社会教育委員連絡会議（県央教育事務所）について ４．協議（１）生涯学習プランについて ５．協議（２）研究テーマ「コロナ禍の子どもの居場所について」について		
資料の名称	１．令和３年度第３回座間市社会教育委員会会議（書面） （①議事説明、②回答票） ２．第３回座間市社会教育委員会会議経過報告 ３．教育部　月間行事予定表 ４．新型コロナウイルス感染症感染下の児童・生徒の居場所についての調査報告（議長作成報告案） ５．座間市生涯学習プラン（令和３～４年度） ６．座間市市政運営指針 ７．第２期座間市教育大綱		
会議の結果			

1. 資料２・３について報告。（議事説明）
2. 令和３年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会が、Ｗｅｂ開催となったことを報告。（議事説明）
3. 令和３年度社会教育委員連絡会議（県央教育事務所）が、書面及び動画配信となったことを報告。（議事説明）
4. 「座間市生涯学習プラン（平成２３年３月策定）」、「座間市生涯学習プラン（令和３～４年度）の検証のため、生涯学習推進の目標と基本方針、基本施策の部分について、各委員の意見や質問を聴いた。
5. 研究テーマ「コロナ禍の子どもの居場所について」について、議長作成案を検証していくことで報告書を作成していくこととなった。今後は各委員の意見も参考としつつ、報告書の作成を進めていく。

議事の概要（又は詳細）

1. 第３回座間市社会教育委員会会議経過報告（報告）

書面で報告（資料２、資料３）。

各委員から質問、意見等

峰尾委員：演劇体験講座終了後、何か発表の場のようなものはあるのか。

事務局：講座の最終回に発表会を行う予定だが、新型コロナウイルス感染症を考慮し、今回は受講者の関係者のみを対象として行う。

乾委員：伊藤洸輝選手が座間出身でオリンピック高飛び込み出場ということをつタウンニュースで知った。

８位は素晴らしい成績だと思う。地元の誇りだ。

2. 令和３年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会（Ｗｅｂ開催）について（報告）

同研修会について、本年度はＷｅｂ開催とする連絡が県社会教育連絡協議会からあったことを書面により報告。

各委員から質問、意見等

特になし

3. 令和３年度社会教育委員連絡会議（県央教育事務所）について（報告）

本会議について、本年度は書面及び動画配信の開催で行うとの連絡が県央教育事務所からあったことを書面により報告。

各委員から質問、意見等

特になし

4. 生涯学習プランについて（協議）

「座間市生涯学習プラン（平成23年3月策定）」、「座間市生涯学習プラン（令和3～4年度）」の検証のため、生涯学習推進の目標と基本方針、基本施策の部分について、御意見や御質問があれば伺いたい。

大串議長：（平成23年3月策定版の）策定に参加したので、読んだ人がどのような意見や質問を持ったのかを知りたい。

赤羽委員：「座間市スポーツ推進計画」の内容を参考のため知りたい。興味がある。

事務局：市のホームページにも掲載しているが、参考までに各委員に後ほどメールでデータ提供する。

宮代委員：生涯学習プラン（令和3～4年度）の12ページ⑥「新たな学習施設の整備」について「郷土資料館の整備や総合運動施設等」から「郷土資料館の整備」とした理由は何か。

事務局：総合運動施設については再整備計画で具体的な話が出ておらず、今ある施設の維持管理を優先していく状況といえるため削除した。

宮代委員：（次期プランでは）12ページ（10）「学習成果の評価システムの実施」の「公民館運営審議会や社会委員会等」による外部評価を「学識経験者や社会教育専門職員等」による外部評価とした方が良いのではないか。

12ページ【基本施策】に「事業評価のための評価委員会の設置」を追加してはどうか。

事務局：今回の御意見は検証やプラン策定の際の参考としていきたい。

5. 研究テーマ「コロナ禍の子どもの居場所について」について（協議）

（1）議長作成報告案（資料4）を検証していくことで報告書を完成していきたいと考えているがよろしいか。

承認 8 人（議長を除く）

不承認 0 人

(2) その他、議長作成報告案(資料4)に対する御意見や御質問、今後の作業の進め方等について御意見、御質問があれば伺いたい。

大串議長 : 新型コロナウイルス感染症の問題はまだ続くので、今後は、子どもに限らず、老人会など他の世代のことをテーマとしたらどうか。

小多喜委員 : コロナ禍で施設も閉館し、子ども達の居場所がなくなっている。

厚生労働省・警察庁の統計では7月までで平成29～令和2年を上回る自殺者となっている。

カウンセリング等の心のケアが必要。

居場所が増えれば軽減できると思う。(資料提供あり)

赤羽委員 : アンケートの目的に記載されている「子どもの居場所活動の参考にするためにアンケートを行った」という観点で読んだ。

アンケートの結果について、児童・生徒の部の「現在、安心できる場所があるか」という設問で、「ない」という子どもが、10人に1人の割合でいる。この結果が多いと見るか、少ないと見るか、悩むところである。

また、「新型コロナウイルス感染症で休校前と学校が再開した後では、下校時や下校後の過ごし方に変化があったか」という設問では、「遊びに行く時間が減った」、「遊ぶ回数が減った」等の回答がある。子どもが社会性を学ぶ機会が少なくなったことが問題。

児童館の利用について、利用者が入谷地区に多いのはなぜか。調査研究をして知りたいところだ。

中学生の回答をみると、公共施設が友達と会う場所になっていないように思われるが、それがコロナ禍以前もそうであったのか、それ以後の変化なのか知りたいところである。

せっかくアンケートを御協力いただいたので、回答結果から調査や研究をして深めていく必要があると思う。

宮代委員 : アンケート項目の列挙と結果及びグラフ化(児童・生徒:全11項目)(保護者:全6項目)した方が良い。

アンケート調査からの課題・問題点等について見出す必要があると思われる。

大沢委員 : アンケート結果を円グラフ等で表し、そこから読み取れる内容を加えていくと、さらにわかりやすい調査報告になるのではないかと。

その他

乾委員 : 連絡協議会の県大会や全国大会へ、議長や副議長など少数でも毎年参加できたら、より多くの見識が得られ、この社会教育委員会議が、より有意義な活動になるのではないかと思います。

事務局 : 県社会教育委員会議総会や研修会等は例年どおり予算要求する予定。社会教育研究大会や関東甲信越静社会教育研究大会は、来年度の会場がそれぞれ広島県と山梨県と遠方であること、また市の財政が非常に厳しい状況であることから、来年度の予算要求は行わない予定である。御理解いただきたい。

【次回会議 11月24日(水) 5-2会議室 10時～】